

胚移植に最も適した タイミングとは？

あなたご自身の「着床の窓」を知るために



CooperGenomics ERPeakSM
子宮内膜胚受容期検査



CooperSurgical[®]
Fertility Solutions

胚移植成功のカギを握る タイミング 着床の窓 (WOI)

CooperGenomics の ERPeakSM 検査 (子宮内膜胚受容期検査) は、体外受精サイクルの中において胚移植に最も適した時期を特定する遺伝子検査です。

胚が子宮に着床する可能性は、「着床の窓 (WOI : Window Of Implantation)」と呼ばれる短い時期に高くなります。WOI のタイミングは、ほとんどの女性で予想できますが、反復着床不全の女性の30%では WOI にずれが認められることが分かっています (わずかに早いか遅い) ¹。これが良好な胚が着床しない原因である場合があります。

ご自分の着床の窓を知り、精度の高いタイミングで胚を移植することで、体外受精での妊娠の成立の可能性が高まります。



着床不全の経験がある女性 10人に3人は
WOI がずれています ¹。

ERPeakSM 検査は胚移植の時期を特定することにより、
WOI にずれがある女性の妊娠率が上昇します ^{2,3}。

ERPeakSM 検査により、反復着床不全の患者さまで、
WOI がずれている



子宮内膜について

月経周期を知る

子宮内膜は子宮の内側を覆う組織です。月経周期中、子宮内膜は妊娠に備えて肥厚します。妊娠が起きなかった場合は、子宮内膜が剥がれて、次の月経周期が始まります。

胚は肥厚した子宮内膜に着床し、発育に必要な酸素と栄養を受け取ります。子宮内膜の状態が着床に適していない場合は、良好な胚であっても着床できない可能性があります。

ERPeakSM 検査は、あなたの WOI のタイミングを知るお手伝いをいたします。

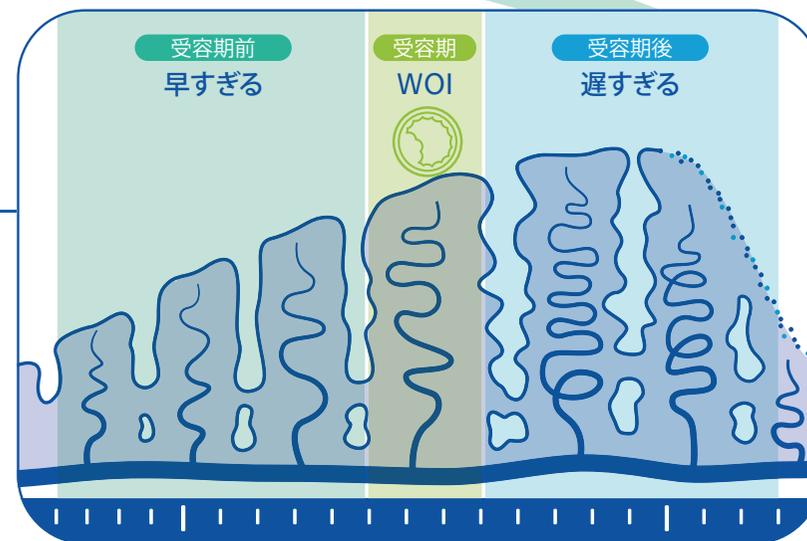
ERPeakSM 検査

(子宮内膜胚受容期検査)

子宮内膜の着床能は、WOI と呼ばれる期間に最も高くなります。体外受精を実施している場合、通常、WOI はプロゲステロンの服用を開始してから 5 日後です。一般的には、これを P+5 と呼び、担当医師は胚移植をこの日に予定します。

しかし、一部の女性では WOI がその前後にずれることがあります。(P+4、P+6 など)

ERPeakSM 子宮内膜胚受容期検査は、患者様の WOI のタイミングを特定するお手伝いをいたします。



標準的な月経周期のタイムライン

ERPeakSM 検査を推奨される女性

ERPeakSM 子宮内膜胚受容期検査は、体外受精で良好な胚を移植しても、着床不全を2回以上経験した女性に推奨されます。

ERPeakSM 検査が患者さまに適切かは担当医師が判断し、検査に関して説明をします。

反復着床不全の女性の妊娠率は、子宮内膜胚受容期検査を受けた場合に向上することが実証されています。

体外受精で2回の
着床不全を経験しました

私の着床の窓は
ずれているの？

ERPeakSM 検査により、
着床が成功する確率は
上がるの？

ERPeakSM 検査の臨床データ

反復着床不全の女性 119 名を対象とした臨床試験で、WOI がずれている女性 (ERPeakSM 検査を受けた女性) の妊娠率は、着床の窓がずれていない女性とほぼ同じでした⁴。

ERPeakSM 検査を用いた正確な胚移植時期

受容期

着床の窓 (WOI)

ERPeakSM 検査を受けた女性 69 名は、標準的な受容期の WOI を示していました。胚移植を通常の日程で実施しました。

妊娠率
41.5%



前後のずれ

着床の窓 (WOI)

ERPeakSM 検査を受けた女性 50 名は、着床の窓がずれていました。胚移植を ERPeakSM 検査結果に基づき実施しました。

妊娠率
46.0%



検査は簡単な 4 つのステップ

ERPeakSM 子宮内膜胚受容期検査は 4 つのステップで実施します。

1/ 体外受精サイクル時に子宮内膜の生検(検体)を採取します。



2/ 検体を CooperGenomics 社の検査施設に送付して分析します。



3/ 遺伝子検査により子宮内膜の着床能を分析します。

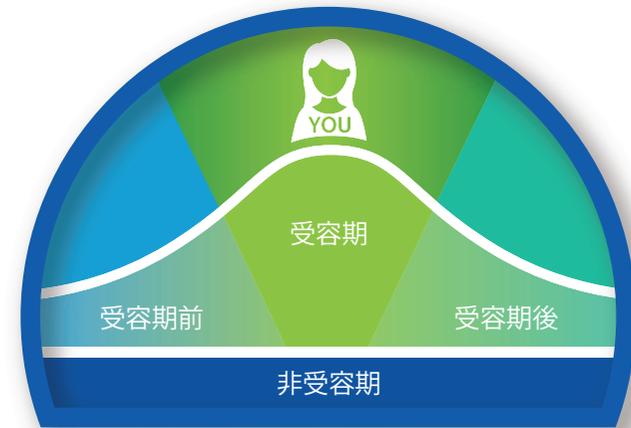


4/ 担当医師が結果について報告、次のサイクルでの胚移植の予定を立てます。



ERPeakSM 検査で得られる結果

ERPeakSM 検査で子宮内膜の着床能の時期を特定します。



受容期前

子宮内膜は胚着床の準備ができておらず、受容期ではありません。胚移植は子宮内膜の生検を採取した時期よりも後に実施することが推奨されます。

受容期

子宮内膜は受容可能な時期です。胚移植は子宮内膜の生検を採取した時期と同じ時期が推奨されます。

受容期後

子宮内膜は、受容能が最適な時期を過ぎています。胚移植は、子宮内膜の生検を採取した時期よりも早く実施することが推奨されます。

非受容期(着床の窓のずれ)

子宮内膜は着床に適していない状態です。治療の選択肢と次のステップについて担当医師とご相談ください。検査結果を確定するため、2回目の生検の実施推奨があります。

まれなケースとして、ERPeakSM 検査の結果が出ない場合があります。今後の治療の選択肢と方針について担当医師とご相談ください。生検を再度実施することを担当医師がお願いする場合があります。

ERPeakSM 検査の結果解釈

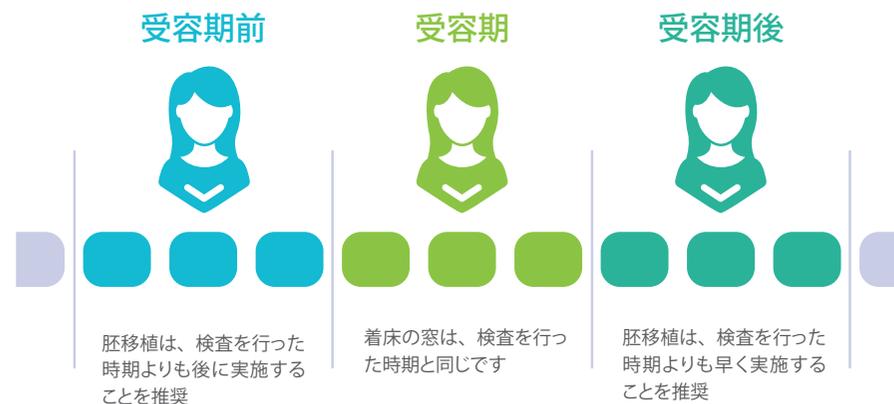
次のステップ

担当医師が、あなたと一緒に ERPeakSM 検査の結果を確認します。
次回の体外受精サイクルで胚移植に最適な時期を、担当医師と一緒に決定します。

CooperSurgical 社は、あなたの担当医師を常にサポートし、迅速かつスムーズに結果が送付されるように努めます。

ERPeakSM 検査および体外受精の治療をされる患者さまに、弊社がご案内できるサポートに関する詳しい情報を下記のウェブサイトでご覧いただけます。

<https://fertility.coopersurgical.com/ja/erpeak-shikyunaimaku-chakusho-no-kensa/>



受容期前

受容期

受容期後



サポート

ERPeakSM 検査については、担当医師もしくは医療スタッフにお尋ねください。

参考文献

1. Katzorke N, et al. Geburtshilfe Frauenheilkd. 2016; 76: 699–703
2. Ruiz-Alonso M, et al. Fertil Steril. 2013;100:818–824
3. Tan J, et al. J Assist Reprod Genet. 2018;35:683–692
4. Ohara et al, Clinical relevance of a newly developed endometrial receptivity test for patients with recurrent implantation failure in Japan. Reprod Med Biol, 2022

©2022 CooperSurgical Inc. All Rights Reserved

記載事項はいずれも発行時の最新情報です。検査は Reprogenetics、Recombine、Genesis Genetics 又はその他、CooperGenomics 社と提携関係にある臨床検査施設で実施されます。

患者様用サイトはこちらから



CooperSurgical®
Fertility Solutions